東洋紡せんい株式会社
本　　社　〒530-0001　大阪府大阪市北区梅田一丁目 13 番1号 大阪梅田ツインタワーズ・サウス
東京支社　〒104-0061　東京都中央区銀座三丁目 15 番 10 号

2026 年 11 月 09 日

東洋紡せんい株式会社　2027 年 3 月期　第 2 四半期　決算概要(単体)

1. 業績

(単位:百万円)

	2026 年 3 月期 第 2 四半期(累計)	2027 年 3 月期 第 2 四半期(累計)	前年同期比	
			増減額	増減比(%)
売上高	20,742	19,905	▲837	▲4.0%
営業利益	552	160	▲392	▲71.0%
経常利益	687	309	▲378	▲55.0%

2. 事業の状況

全体感:	・売上は、産業資材事業が堅調に推移した一方、衣料事業で中東情勢不安の長期化により主力製品であるトーブ地の輸出が減少したことなどから、前年同期比減収となりました。 ・収益面では、衣料事業において原燃料価格の高騰を受けた価格改定を進めたものの、ユニフォーム・スポーツ事業の収益悪化、トーブ地の輸出減などが重なり、営業利益は前年同期比 71.0%減の 1.6 億円となりました。
スクール	・学生服向けの市況回復及び価格改定の効果に加え、ヘルスケア市場向けの拡大が寄与し増益となりました。
ユニフォーム・スポーツ	・ユニフォーム向けは、短繊維織物の販売減少に加え、円安による海外仕入コストの上昇により、減収減益となりました。 ・スポーツ向けは、国内生産体制の見直しが進んだものの、海外生産の数量が減少したことで収益性が悪化しました。
マテリアル	・既存事業では、インナー向け原料の販売が減少したものの、価格改定の効果に加え、非衣料分野の新規開拓が寄与し、ほぼ前年並みの収益を確保しました。
輸出織物	・中東向けトーブ地は、中東情勢不安の長期化に伴い大幅な販売数量の減少に加え、コスト上昇の影響も受けて減収減益となりました。
ニットテキスタイル	・差別化ニット生地の販売は順調に推移したものの、コスト上昇により減益となりました。
産業資材	・幅広い産業資材分野で需要が増加したことに加え、価格改定の効果もあり増収増益となりました。

3. 2027 年 3 月期業績予想(2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

売上高	営業利益	経常利益
42,000	900	1,000

以　上

【問い合わせ先】
東洋紡株式会社 ｺｰﾎﾟﾚｰﾄｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ部　広報ｸﾞﾙｰﾌﾟ　電話:06(6348)4210　／　E-mail:pr_g@toyobo.jp